

# 高梁市議会だより

第49号  
2022年2月



**指定管理者が決まりました  
どうする？議員定数  
現状維持か？削減か？**



# 民間が公に代わって施設を管理運営 「指定管理者制度」を 知っていますか？



# 12月定例会が開催されました

12月3日から22日までの20日間、令和3年第6回12月定例会が開催され、市長からは議案24件が提出されました。また、会期中に追加議案1件が提出され、議案25件は全て可決されました。なお、陳情1件が提出されましたが、賛成少数で不採択となりました。

## ？ 指定管理者制度とは？

地方自治法第244条の2に定められている公民連携の手法の1つです。  
平成15年の改正により、民間事業者にも公の施設の管理運営を任せられることができるようになりました。

本来、公共施設を管理運営するのは自治体の役割です。指定管理者制度は、管理運営を民間事業者に指定管理とすることにより、サービスの向上や運営の小回りが利くことなども狙いとして導入された制度です。委託先の事業者や各種団体が持っている専門的な能力や経営ノウハウなどを生かしたうえで、人件費など経費削減も期待できます。

## 公共の宿 神原荘



指定管理者  
**(株)Tiki ナビトラベル**  
指定管理期間  
令和4年1月1日から令和9年3月31日まで  
指定管理委託料  
162万5千円(税込)(令和3年度分)

- 主な質疑**
- ・神原スポーツ公園と神原荘の連動整備
  - ・顧客ターゲットの設定とアンバサダー(PR隊)募集
  - ・大規模修繕の必要性と指定管理料の額と上限
  - ・以前この施設が閉館したことの調査、検討
  - ・高梁市サイクリングターミナル条例との整合性

## 高梁バスセンター



指定管理者  
**備北バス(株)**  
指定管理期間  
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで  
指定管理委託料  
0円

- 委託料が発生しないわけ**
- バスセンターは、本来、バス運行事業者が整備するものであるが、本市は複合施設として一体的に整備したものであるため、指定管理料を支払うのではなく、施設利用料(約290万円/年)として徴収している。

## 高梁市図書館



指定管理者  
**カルチャ・コンビニエンス・クラブ(株)**  
指定管理期間  
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで  
指定管理委託料  
年額1億4,800万円(税抜)

- 主な質疑**
- ・5年間の運営状況
  - ・図書館司書と職員の数
  - ・郷土資料の整理とデジタルアーカイブ\*
  - ・他社との比較、他社の意向

\*デジタルアーカイブ…収録資料の管理等をデジタル化し、インターネットで検索・活用できること。

## 旧吹屋小学校



指定管理者  
**(一社)高梁市観光協会**  
指定管理期間  
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで  
指定管理委託料  
年額2,500万円程度(税込)

- 主な質疑**
- ・文化財なのか観光交流拠点なのか
  - ・指定管理後の大規模修繕及び補修時の対応
  - ・計画されている人員配置、雇用など
  - ・吹屋地域の方とのコンセンサス(合意)
  - ・株式会社ANA総合研究所および株式会社天満屋トラベルとの事業継続性
  - ・適正な人員配置と指定管理委託料の整合性

議案を大きく分けると、条例の一部改正、指定管理者の指定、一般会計および特別会計の補正予算に分けられます。以下で、主なものについて取り上げます。

**施設の移転**

条例の一部改正では、川上地域局、たかはし障害者総合相談センターの移転および玉川学童保育が玉川小学校から休園中の玉川幼稚園へ移転されることが提案されました。議員からは、各施設の跡地利用や、移転に関して利用者に不利益が生じないよう質疑がありました。

**指定管理者の指定**

新規の旧吹屋小学校、更なる高梁市図書館および高梁バスセンター、改めて指定される公共の宿神原荘について提案がありました。指定管理者の指定については3ページで詳細をお伝えします。

**補正予算について**

今回の主な補正予算として、一般会計および特別会計に共通しているのは、4月の定期人事異動に伴う人件費の調整と人事院勧告による期末手当の減額です。まず一般会計において、民生費では市内介護施設の大規模修繕が減額になっていることや、商工費では新型コロナウイルス感染症の流行により、施設の利用休

止や事業の中止など影響を受けている指定管理者への支援金1470万円について、多くの議員から質疑がありました。

教育費においては、ICT推進事業として、小学校においては教員用等iPad70台の追加購入費として約416万円とiPad落下防止器具購入費として約251万円が、中学校においても同様に教員用等iPad30台の購入費として約178万円とiPad落下防止器具購入費として48万円が計上されていたり、有漢地域の小学校が令和4年度から統合されるのに伴い、必要となる学用品費補助金に追加補正210万円が計上されました。

そして特別会計では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている2診療所に対して、国民健康保険特別会計において740万円

会期中に追加補正として、子育て世帯等臨時特例給付金に関わる予算が提出され、児童手当支給世帯に対してはプッシュ型(無申請直接支払)で12月中旬に10万円を、高校生等のみ養育している保護者など申請が必要な方については1月以降に受付を開始し、順次支払いをされることが説明されました。

**子育て世帯等臨時特例給付金について**

また、地域開発事業特別会計には、有漢工業団地2期分の造成にあたり必要となる土地購入費等として約4345万円が追加補正されました。





議員定数の算定方式には

① 常任委員会数方式	常任委員会の数 × 審議する議員数(1つの委員会)
② 人口比例方式	国勢調査における人口数 ÷ 議員1人当たりの住民代表数
③ 住民自治協議会方式	小学校区で最低1人の議員を選出
④ 類似都市との比較方式	人口・財政規模の類似する都市の議員定数と比較

他にも 議会費固定化方式 面積・人口方式などがあります。

議論の末、高梁市議会では、「常任委員会数方式」を基本として、定数を考えることにしました。

### 「委員会中心主義」とは？

議会が意思決定機関としての役割を果たすために、専門的かつ詳細に審査活動を行うために設けられたのが委員会です。委員会の審査結果に基づいて本会議で審議し、議決することによって初めて議会での意思決定となります。

### 高梁市議会の委員会

議会運営委員会 6人	
特別委員会 特定の目的のために作られた 期限付きの委員会。	常任委員会 議案を、専門に分かれて審議 するための委員会。
議会のあり方検討 特別委員会 8人	総務文教委員会 6人
議会広報公聴 特別委員会 8人	産業経済委員会 6人
議会ICT化推進 特別委員会 6人	市民生活委員会 6人

議会のあり方検討特別委員会は、議員定数や報酬、議会のあり方などを考えるため、令和2年12月16日に設置されました。以降、議員定数については、人口や面積から見るとどうか、また類似自治体と比較して定数かどうか、さらに市議会議員選挙が無投票だったことをどう考えるのかなど多面的に議論してきました。

主な意見としては、

- 定数を削除すると周辺地域の声が届きにくくなる。
- 定数が減れば最低当選票数が上がり、立候補のハードルが高くなる。
- 委員会構成を考えれば、今の定数が最低ラインである。

○市民から定数削減を求める声は聴いていない。

○前回選挙の無投票を考えれば削減はやむを得ない。

○人口が減少するなか議員定数も下げるべき。

○市民から議員は多過ぎるという声を聴いている。

○次回も無投票となれば議会の見識が問われる。

○この意見が出されました。

**現状維持か削減か？ 全員協議会で意見は拮抗！**

これらの意見を踏まえ11月2日に開催した議会全員協議会で全議員が各々の意見を発言したところ、議員17名のうち現行の18人を維持すべきが8名、2人削減の16人とすべきが7名、2人あるいは4人削減の14人とすべきが1名でした。

この結果を受けて、12月3日に第9回の委員会を開



催し、全議員の意見を集約すると、現状維持が8名、削減が9名であり、次期一般選挙の2年前の令和4年9月までに一定の結果を出すこととしています。

**報酬は今のままでよいのか？**

報酬については他の議会で引き上げる動きがありますが、コロナ禍において現段階では市民の理解が得られないとの考えで、定数についての議論を先行しています。

## 「今、話したいことがあふれる」政治のリアルタイムで話そう3時間

11月14日、吉備国際大学、井勝久喜研究室の学生が主催のZOOMを使ったオンライン会議が開催され、市議会議員有志11人と、大学生、高校生、社会人を合わせて34人が参加し「未来を担う若者たちと政治」をテーマに話し合いました。

### 若者のための政治プロジェクト

オンライン会議では、議員を含めた参加者が6〜7人のグループに分かれ、学生がファシリテーター（進行役）となり、「政治家としてやりたいことは何か」「若者に、政治に興味を持つてもらうには」などのテーマに沿って話し合いました。

各議員は「選挙に立候補した理由や、市政の現状を説明し、寄せられた要望などを市に対して質問や提案として行っている」と説明しました。各グループで意見交換をしながら、それぞれの考えを深めました。

### 議員の期末手当の減額について

令和3年11月18日に開催された臨時会では、議員の期末手当の減額に関する議案（乙議案）が提案されました。これは、年間の公務員の期末手当総額が民間を上回ったことから、人事院から期末手当の支給月数引き下げが勧告されたことにより、

### 議会のHPに議案を掲載します

高梁市議会では、情報公開の一環として、12月定例会から新たに、議会で審議される議案をホームページに掲載していきます。ぜひご覧ください。

### 執行部もタブレット端末を導入

11月の臨時会、12月定例会において、執行部もタブレット端末を試験的に導入しました。円滑な議事運営、議案審査およびパース化等、議会におけるICT化を目指していきます。



高梁市議会公式ホームページ  
<https://www.city.takahashi.lg.jp/site/gikai/>



# 一般質問ココを聞きました!

新倉 淳	本市の農地の保全について	川上修一	県道新見川上線について 高梁市の基幹産業である農業について
小林重樹	令和4年度当初予算編成について 定住対策につながる住宅施策について	森上昌生	高梁市の観光戦略について
伊藤泰樹	ウッドショック対策について タクシー利用助成実証事業について 市道及び農道の維持管理について 市内の高校について 選挙について	金尾恭士	コロナ禍における高梁市の市民生活、経済活動について 高梁市中期財政見直しについて 学校園の安全対策について 脱炭素宣言について 小規模基盤整備事業について 森林環境譲与税について 小・中学校の外国語科について 聴覚障害について 若者の政治参加について
三村靖行	中期財政見直しについて 高梁市立地適正化計画について 有害鳥獣対策について 野球場の施設について	川上博司	ごみ出し支援について 遺族支援について 若者支援について
平松久幸	グリーンスローモビリティ実証運行について 高梁市の生活交通の在り方について マイナンバーカードの利用促進について 本市の財政状況について	宮田好夫	防災事業について 定住・移住の推進について 「カムカムエヴリバディ」について
石田芳生	通学、通園の安全について 高梁認定こども園建設について 次期環境基本計画について	森 和之	公園整備について 高梁市歴史的風致維持向上計画(第2期)について 職員の育成について
石部 誠	国保税の引き下げについて 電気自動車の充電施設の増設について 選挙事務について		

**新倉 淳 議員**

**本市の荒廃農地の対策は**

**新倉** これ以上、荒廃農地を増やさない核となるような具体的な施策はあるのか。

**市長** 農地の荒廃は、農業後継者の問題もあるが、本市は幸いなことに9人前後の新規就農者がコンスタントにあり、国と一緒に頑張って支援措置を行っている。

農地経営形態として湯野地区でもほ場整備に取り組んでいる。適地があれば、市の主導ではなく、地域と一緒に新しく耕地を整備し直すことで、経営規模の拡大もできる。

国のデジタル田園都市構想を受けて、農業においてもデジタル分野は導入しないといけない。もうかる農業への支援の実績を踏まえ

**新倉** 検討が必要である。荒廃農地にしないという観点から、共同で農業機械を購入することも考えられる。農業をこれ以上、疲弊させてはいけない。

**新倉** 地域の理解と協力が無いとできない事業ではあるが、「農地耕作条件改善事業」を核に農地の保全を図っていただきたい。

要望が増えれば予算も増額していただきたい。本市の農地は中山間の典型であり、狭小で点在している。残念ながら農地として劣悪な条件である。新規就農者、担い手の確保には必要不可欠な事業である。また田舎に興味を持つ人に、半農半リポート勤務の自給自足的農業をターゲットにすることも方法ではないか。



本市の農地の保全を図るべき

## 委員会管内視察

令和3年11月8日に、高梁市立宇治高等学校と高梁市立松山高等学校を視察しました。

宇治高校では、生徒数の安定的な確保に努めるため、広域からも生徒を募集する対策として、令和4年度からスタートする下宿事業の説明を受けました。「宇治親」(下宿先の家主)等、地域全体で宇治高校に入学し下宿をする生徒の生活支援を行うこの事業について、組織づくりや下宿施設の準備における費用など、今後の課題と学校運営について意見交換が行われました。

松山高校では、働きつつ学ぶという夜間定時制高校の特性を生かした学校教育目標の説明を受けて、現在の生徒の状況や、卒業生の進路状況等について意見交換が行われました。

両校ともに、学ぶ楽しさを再発見してもらおうという特色をもった高校であり、他の高校から転入学や編入学してきた生徒、働きながら学ぶ生徒、多様な特性を持つ生徒を受け入れていきます。



宇治小学校校舎3階に宇治高校  
総務文教委員会  
2つの市立高校を視察



松山高校での意見交換

## 市民生活委員会 高梁市権利擁護センター等を視察

令和3年11月11日に4件の視察を行いました。

高梁市権利擁護センターの視察では、運営主体の高梁市社会福祉協議会にて、権利擁護相談、成年後見制度、特に市民後見人について説明を受けました。

たかはし障害者総合相談センターに関しては、令和3年度中に落合町近似から中原町の旧労働会館に移転予定であるため、整備中の施設を視察しました。また、市内特定相談事業所4法人の活動内容、岡山県の高梁市権利擁護センターの視察を行いました。

高梁市の公共交通に関しては、第2次高梁市地域公共交通網形成計画、現在実施しているタクシー利用助成制度実証事業、グリーンスローモビリティ実証調査事業について説明を受けた後、電動7人乗りカート型車両に乘車しました。

高梁認定こども園(仮称)については、コンセプトや基本設計に向けてのワークショップの状況の説明を受けた後、建設予定地の視察を行いました。

高梁市権利擁護センター



電動7人乗りカート型車両



高梁認定こども園(仮称)建設予定地

高梁市社会福祉協議会内にある高梁市権利擁護センター



小林 重樹 議員

持続可能な予算編成と定住対策を

定住対策につながる住宅施策について

小林 元雇用促進臥牛団地は用途廃止が決定している。今後の活用方法として、若者向けマンションや分譲地、またはカーボンニュートラル社会を目指した環境に対応した団地は考えられないのか。

市長 令和7年3月に用途廃止を決定している。定住を考えるうえで、エネルギーの自給自足や、環境、デジタルまで含め、小さな町がつくれたらとも思っている。皆さまのご意見を伺いながら検討していく。

令和4年度予算編成について

小林 経常収支比率が94%〜95%

経常収支比率（令和2年度）

1	備前市	97.6%
2	高梁市	94.7%
3	総社市	92.8%
4	津山市	92.4%
5	浅口市	92.1%
6	玉野市	91.3%
7	笠岡市	91.2%
8	赤磐市	90.9%
9	岡山市	90.6%
10	美作市	90.1%

の間で推移し、財政収支が悪化していくが、投資的経費の維持と今後の施策について問う。  
市長 高梁市の今後の財政においては、大規模災害による災害復旧で多額の地方債を発行し、今後償還が始まる。各種補助金や公共施設、人件費や物件費の見直しも必要である。市として頼るのは地方交付税でありしっかり確保を行っていく。



三村 靖行 議員

老朽化しているスコアボードの電光化と環境改善を！

野球場の施設について

三村 平松政次球場、なりわ球場の老朽化したスコアボードを電光掲示板に改修できないのか。

教育次長 大会運営の効率化、暑さ対策、設備老朽化に対応した改善について検討する。

三村 平松政次球場の外野の芝生が激しく傷んでいる。原因は練習使用と思われるが、どう考えるか。  
教育次長 利用頻度の再考と芝生養生の強化の検討。利用の仕方についても指導を継続していく。

中期財政見通しについて

三村 経常収支比率が上がり、市が自由に使えるお金が少ない。しかし緊急車両の通れない路線の改良や、待避所などのハード事業は

必要ではないか。

市長 政策的経費に回せる財源は少なくなるが、周辺部の生活道は地域のライフラインであり、危険な箇所は優先的に対応したい。

立地適正化計画について

三村 計画を市民に理解してもらっているのか。メリットは何か。  
市長 平成28年から住民説明会を28回開催してきたが、今後も広報紙等で周知を図りたい。本計画の策定により、国の支援を受けることができる側面もある。

有害鳥獣対策について

三村 有害鳥獣被害を守るための追い払い花火に補助を求める。  
産業経済部長 免許取得は補助している。追い払い花火の補助は現在のところ考えてない。



伊藤 泰樹 議員

新居を構えようとする方には今一層支援を拡充すべき

ウッドショック対策について

伊藤 木材、木製品、林産物の急激な価格高騰に伴い、建築費が大幅に膨らむ事例が市内でも発生している。新築だけでも対策をすべきではないのか。  
市民生活部長 何らかの対策がでないか検討していく。

タクシー利用  
助成実証事業について

伊藤 大変有用な事業であり、現在の対象者に加え、71歳以上の高齢者免許更新の有効期間が5年とはなくなるタイミングで、一定のお試し期間を設けてはどうか。  
副市長 高齢者運転講習の機会に、いわゆる免許返納を考えてくださいというのは非常に有効なこ

市道・農道の維持管理について

伊藤 中央線や車道外側線が消えた状態が慢性化しており、安全上非常に問題がある。本年度は難しいようだが、来年度以降で予算を拡充すべきではないのか。  
土木部長 道路の管理上大きな課題と認識しており、安全対策として効果が図れるよう、他事業とのバランスを図りながら予算確保に努める。

### 石田 芳生 議員

命の大切さ、自らの命は  
自ら守るという教育

**石田** 通園や通学路での悲惨な事故が全国的に発生しているが、学校園での交通安全指導はどうなっているのか。

**教育長** 交通安全指導は学年に応じて計画的に行っている。重大事故が発生した際には、タイムリーに事故原因などを指導している。最終的には自分の命は自分で守ることをしっかり理解し実行できるようにするためにやっている。

通学路に関する要望への対応

**石田** 通学路の危険箇所改修の要望への対応はできているのか。  
**土木部長** 危険性や緊急性を勘案しながら順次対応している。職員

### 通園通学時の安全の確保

危険な通学路への  
スクールバスの導入

できることはすぐに対応している。

**石田** 危険箇所改修に期間を要すると分かっている場合には、公共交通機関の活用も考えるべきではないのか。

**教育長** 遠距離通学となる場合には、公共交通機関の利用については、補助制度を設けているが利用者は少ない。スクールバスの新たな導入は難しい。非常に危険性が高まっているというときにもうしてもというときには考えられるかもしれない。



### 川上 修一 議員

県道新見川上線について

**川上** 県道新見川上線について、県とどこまで協議ができていますか。

**市長** 県道新見川上線は非常に重要な路線であると認識している。現在は、県が交渉にあたっているが、今のところ県と事業所との間で協議が進められている。市としては、県事業ではあるが協力できることは最大限の協力をしていきたい。

新規就農者の  
定住施策について

**川上** 新規就農者に対して、他の自治体にはない魅力ある政策はあるのか。

**産業経済部長** 新規就農者に対し

### 県道新見川上線の協議は 進んでいるのか

農業機械の補助など支援の強化や、農協や農業普及指導センターと連携してブドウ、トマト、桃、アスパラガスの栽培における基礎的な技術の習得を目的としたスクールの開催を行っている。

また本市の特産物であるブドウ、トマトは高収益な作物で、本市の気候や土地にも合っており、今後もしっかりアピールしていきたい。

**川上** 新規就農者の農業を維持するため、定住対策はどう考えているのか。

**市長** 高梁市の基幹産業は農業であり、新規就農者への定住は、新しい施策を含め、今相当な形で支援策を用意している。

今後も一人一人の声を聞き、寄り添う姿勢に変わりはない。

### 石部 誠 議員

国保税のあり方について

**石部** 本来、不納欠損は払いたくても払えない状況の積み重ねの中で、やむを得ず徴収ができずに欠損とされる。

令和2年度では、その欠損のうち吉備国際大学の学生が人数で5割を超え、金額では3割を超えている。また、この欠損となった額は他の国保加入者が負担しなくてはならず問題と考えるが。

**副市長** ことさら学生、また外国の方を中心に議論を進めるのが、正しいやり方かどうかというのは疑義を覚える。

日本人でも納税意識が根づかない年齢であり、外国の国情の違いに思いをはせる必要がある。その上で納税意識をはかる努力は市にあり、大学との連携も必要があると考えます。

### 移動投票所の開設を

5億円の基金追加者が積み立てたもの、引き下げに使うべきではないのか。

**健康福祉部長** 今後どの程度の基金が必要か検討している。

電気自動車充電施設の増設を

**石部** 市内の電気自動車充電施設が市役所駐車場だけになったが、増設が必要ではないのか。

**市民生活部長** 国や市も電気自動車の導入促進をしており、その普及に見合った充電設備は必要であると考えている。

選挙の投票機会を増やして

**石部** 選挙の投票機会を増やすために、他市でも行っている移動投票所自動車を導入したらどうか。

**市民生活部長** 公正な選挙の維持、人材の確保等を踏まえながら、検討してまいりたい。

### 森上 昌生 議員

山田方谷の大河ドラマ化の可能性は

**森上** 山田方谷の知名度は全国的に高くなく、またその人生もあまりドラマチックではないが、ドラマ化の可能性はどの程度か。

**政策監** 10年前からドラマ化の実現に向けた活動が始まり、全国百万人署名を達成しグッズ等の制作をはじめ、3年後のドラマ化のPRに務めている。

実現の可能性はNHKの関係者のみぞ知るところだが、徐々に知名度も上がってきたし、主人公の現代的意義からも、山田方谷は、今の社会にふさわしい人物であると考えます。また百万人署名の重みも感じてもらえたと考えています。

**森上** ドラマ化が実現した場合の経済効果は。

**政策監** 過去の大河ドラマの例か

### 高梁の観光施策について問う

ら見て、県単位で100億円から200億円といわれるが、実際の数字は試算していない。しかしながら経済効果だけでなく、山田方谷の知名度を高めるには有効な手段と考える。

カムカムエヴリバディの活用

**森上** NHKの朝ドラ「カムカムエヴリバディ」は、高梁市津川町出身の故平川唯一氏をモチーフに扱ったドラマだが、効果的な活用がなされているのか。山田方谷の大河ドラマは絵に描いた餅となるかもしれないが、こちらは現実の餅ではないのか。

**産業経済部長** 津川地域まちづくり推進協議会や、NHKとはポスターチラシなどの制作や巡回展の開催などで協力連携している。平川氏と高梁市のつながりの説明看板の設置も検討していく。

金尾 恭士 議員

小・中学校の外国語科について

金尾 小・中学校の外国語科の学習ギャップが子ども達に大きく影響するといわれているが、高梁市ではどのような手立てを考えているのか。また、中学3年生の移行措置は順調か。

教育長 国が示した移行措置で忠実に対応してきており、基本的には順調と考えている。今後とも国の動向を注視し、適切に対応していきたい。

脱炭素宣言について

金尾 高梁市もSDGsの推進と共に「脱炭素宣言」を行う必要があると考えるがどうか。

市民生活部長 重要性は認識している。

教育は未来への先行投資 豊かな教育を子ども達に

金尾 策定中の環境基本計画のなかで市の姿勢を示していくことが重要。早期の宣言を希望する。

聴覚障害について

金尾 公共施設の窓口「耳マーク」「筆談ボード」を設置しては。健康福祉部長 筆談ボードは19カ所に設置している。できることから早急に取り組みたい。

金尾 高梁市行政放送は市民一人一人に重要な放送だ。字幕を入れるべきではないのか。

健康福祉部長 全てには対応を考えていないが、分かりやすい放送を目指していく。

金尾 市がバリアフリーの旗振り役になることで、地域にも広がっていく。高梁市意思疎通支援事業を市民により一層周知しては。

健康福祉部長 大きなイベントだけでなく、地域の行事でも紹介していきたい。

金尾 市がバリアフリーの旗振り役になることで、地域にも広がっていく。高梁市意思疎通支援事業を市民により一層周知しては。健康福祉部長 大きなイベントだけでなく、地域の行事でも紹介していきたい。

宮田 好夫 議員

カムカムエヴリバディで交流を

宮田 NHK朝ドラ「カムカムエヴリバディ」のラジオ講座の講師故平川唯一氏は高梁市津川町の出身であり、高梁市を宣伝する良い機会だと考えるがどうか。

市長 歴史美術館で開催している特別展「カムカムおじさん」の来場者が増えてきている。ラジオ講座で育った市内外の著名人の方に、可能であれば連絡し高梁市のPRをしてみたい。

宮田 平川唯一氏のご子息が先日高梁市を訪問された。この方は世界的なウクレレ奏者であり、幅広い交友関係をお持ちであるので「備中高梁伝えたし」をお願いしたらどうか。また、備中高梁駅

カムカムエヴリバディで交流を 平川唯一さんってどんな人? Uncle Came Came

川上 博司 議員

いみ出し支援について

川上 周辺地域において、ごみ集積所まで遠く、ごみ出しが非常に困難で困っている1人暮らしの高齢者の方、障害者の方がおられる。ごみ出しが困難な世帯に対し、事業者を登録して行うごみ出し支援事業を実施すべきではないのか。

健康福祉部長

健康福祉部長 要介護認定を受けられた方はホームヘルプサービスで、また、地区社協が地域支援合い事業として「お助け隊」を立ち上げ、ごみ出し支援を行っている。地域の実情を踏まえ、より良い支援策を検討していきたい。

遺族支援について

川上 死亡後に遺族の方が行う手続きの負担軽減のために、専用窓口とお悔やみコンシェルジュの設置、ハンドブックの作成を検討す

いみ出し支援事業の拡充を

若者支援について

川上 吉備国際大学生による若者のための政治プロジェクト「今、話したいことがある」政治のことについて話し合う3時間に参加し、大変貴重な経験ができた。若者の声を市政に反映させるために、大学生議会、若者議会を実施すべきではないのか。

若者支援について

市長 若い方の声を市政に反映させることは重要である。これまで意見交換会を開催してきたが、今後大学生を対象にした語る会も予定しており、若い方との意見交換の場を設けていきたい。

森 和之 議員

人口減少・高齢化・空き家の増加に どう向き合い、町並みを保存していくのか

公園整備について

森 市内の公園には、日陰やベンチなど、くつろげる場所が少ないのではないのか。

政策監

政策監 正宗公園や落合公園の利用者からは、日陰が欲しいという意見を伺っている。財源を確保して、日差しを遮るベンチのシェルターやパーゴラの設置を考えている。

高梁市歴史的風致維持向上計画(第2期)について

森 高齢化による住民の意識低下にどう向き合い、町並みを保存していくのか。

市長 町並みの連続性を守るため

公園整備について

森 市内の公園には、日陰やベンチなど、くつろげる場所が少ないのではないのか。

政策監

政策監 正宗公園や落合公園の利用者からは、日陰が欲しいという意見を伺っている。財源を確保して、日差しを遮るベンチのシェルターやパーゴラの設置を考えている。

高梁市歴史的風致維持向上計画(第2期)について

森 高齢化による住民の意識低下にどう向き合い、町並みを保存していくのか。

市長 町並みの連続性を守るため

パーゴラ：植生を利用した日陰棚(ブドウ棚、藤棚など)

3月の定例会スケジュール

3/4	金	本会議（議案の上程）
10	木	本会議（一般質問）
11	金	本会議（一般質問）
14	月	本会議（一般質問）
15	火	本会議（議案質疑）
16	水	委員会
17	木	委員会
18	金	委員会
24	木	本会議（採決）

※3月定例会への請願・陳情の締め切りは2月24日(木)までです

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！  
有権者が求めることも  
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

- 議会広報聴特別委員会
- 委員長 伊藤泰樹
  - 副委員長 森 和之
  - 委員 石部 誠
  - 委員 石田芳生
  - 委員 石井聡美
  - 委員 金尾恭士
  - 委員 新倉 淳
  - 委員 平松久幸



**新 高梁  
人名録**

しゅうぞう  
故 森下修三氏

「盛秋」

毎年秋に、高梁市内の絵画愛好家グループ「ブロッサム」による作品展が高梁市成羽美術館で開催されます。令和3年は、10月上旬に亡くなられた森下修三先生への感謝を込めた作品展となりました。

森下氏は昭和14年、成羽町に生まれ、大学卒業後教職に就き、岡山県立総社南高等学校の開校に携わられたり、市内中学校長も歴任されました。退職後も後進の指導に携わる一方で、公益財団法人成羽町美術振興財団の監事、「児島虎次郎を偲ぶ絵画展」の審査員として貢献されました。

大学在学中に光風会展、日展に入選されたのをはじめとして、日展では入選19回、県展、県教職員展でも多数受賞されました。

退職された後は、同級生ら4人で始めた「グループ60 楽展」や絵画教室講師を通じて創作活動が続けられました。先述

した「ブロッサム」の会員からは、「受賞を重ねて高齢になっても、地元的美術館や県内の展示会に精力的に出品され、誠実で気負わない姿が記憶に残っています」と伺いました。

森下氏は多くの作品を高梁市や市内企業に寄贈されており、各所で鑑賞することができず。また、氏が高梁市内名所や備中神楽を描いたスケッチはがきは、高梁市のお土産にもなっています。



「展示室」

今号の表紙

〜 落合小学校児童放水体験 〜

3年生社会科単元「町の安全を守る」消防署の見学

3年生32名が高梁市消防署を見学しました。児童は署員から各施設、消防車、救急車などの緊急車両の説明を受けた後、3人ずつ署員の指導のもと放水体験をしました。

見学後児童からは「防護服とヘルメットがずっしりと重かったです」「消防署の人たちは私たちの安全を守ってくださいました」との感想がありました。

あとかき

編集などの都合で原稿締切はどうしても1カ月以上前となってしまっているので、この議会だよりが市民の皆さまに届く頃に、オミクロン株の感染状況がどのようになっているのか大変心配致しております。3学期が始まり、子ども達の声が教室に戻ってきたとのニュースの反面、各地でオミクロン株の感染が確認されたとの報道があり、爆発的感染者の増加で全国的に「まん延防止等重点措置」が適用となりました。まだまだウィズコロナの日々は続くことと思いますが、前向きな日常生活を送りたいものです。

（新倉 淳）